

プログラム名	Basic Programs 「学生リーダーズ・サマースクール」																																																															
実施日	平成 25 年 9 月 9 日（月）～11 日（水）																																																															
実施先	愛媛県松山市中島 中島 B&G 海洋センター及び、姫ヶ浜ビーチ																																																															
参加者	<table border="1"> <thead> <tr> <th>大学名</th> <th>教職員</th> <th>学生スタッフ</th> <th>学生</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>愛媛大学</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>島根大学</td> <td>1</td> <td></td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>高知大学</td> <td></td> <td></td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>佐賀大学</td> <td>1</td> <td></td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>山口大学</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>松山大学</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>京都外国語大学</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>京都文教大学</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>九州国際大学</td> <td>2</td> <td></td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>愛媛県立医療技術大学</td> <td>2</td> <td></td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>追手門学院大学</td> <td></td> <td></td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>広島経済大学</td> <td></td> <td></td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>目白大学</td> <td></td> <td></td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>13 大学合計:88 名</td> <td>17</td> <td>14</td> <td>57</td> </tr> </tbody> </table>				大学名	教職員	学生スタッフ	学生	愛媛大学	6	6	3	島根大学	1		1	高知大学			5	佐賀大学	1		2	山口大学	1	3	4	松山大学	1	1	3	京都外国語大学	2	2	12	京都文教大学	1	2	13	九州国際大学	2		4	愛媛県立医療技術大学	2		4	追手門学院大学			4	広島経済大学			1	目白大学			1	13 大学合計:88 名	17	14	57
大学名	教職員	学生スタッフ	学生																																																													
愛媛大学	6	6	3																																																													
島根大学	1		1																																																													
高知大学			5																																																													
佐賀大学	1		2																																																													
山口大学	1	3	4																																																													
松山大学	1	1	3																																																													
京都外国語大学	2	2	12																																																													
京都文教大学	1	2	13																																																													
九州国際大学	2		4																																																													
愛媛県立医療技術大学	2		4																																																													
追手門学院大学			4																																																													
広島経済大学			1																																																													
目白大学			1																																																													
13 大学合計:88 名	17	14	57																																																													
講師	カヌー講師 松山市中島 B&G 海洋センター B&G 海洋性レクリエーション指導員 (AD) 村上 周平																																																															
完了報告	<p>本プログラムは、大学内のゼミ、サークル、市民活動等においてリーダー的役割を担っているか、今後そのような活動に従事することを見据えてリーダーシップに関するスキルを磨きたいと思っている学生を対象として行なう合宿型研修である。</p> <p>参加学生は、5-6 名ごとにグループを形成し、集団の中での自分の役割を認識しながら、変化する状況に対応できる実践的なリーダーシップを身につけるべく、種々のミッションにメンバーと協力して挑戦した。</p> <p>結果として、学生たちはチームビルディングの手法を学んだり、組織・集団との関わりを通じてリーダーシップに必要な態度やスキルを養うことができた。</p>																																																															
<p>【プログラムの到達目標】 野外での活動などを通して以下のことを身に付ける。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 良好な人間関係に配慮しながら目標達成のためにメンバーを啓発できる。 2) 自己の経験や他社からの評価を通して、自己を客観的に振り返ることができる。 3) チーム活動を通して、新しい自分を発見することができる。 4) チーム内の役割を理解して、状況にふさわしいリーダーシップを発揮することができる。 5) 仲間の成長を促す働きかけをすることができる。 																																																																

【プログラム概要】

5～6名のチームに分かれ、物資や情報が限られた状況において、仲間と協力しながら、予期せぬ様々なミッションに取り組み、最終目標に向かって活動する。その後、それぞれの言動について、指導者からフィードバックを受けるほか、メンバー間で批評的に振り返る。その過程を経て、リーダーシップを養う。

【プログラムの内容】

スケジュール

9/9(月)	8:00	参加者受付開始/教職員スタッフミーティング
	8:30-9:00	あいさつ・説明会
	9:30-11:30	移動(愛媛大学→大浦港)
	12:30-13:00	オープニングセレモニー
	13:00-17:00	アクティビティ1(テント張りや食料収集)
	17:00-20:00	夕食
	20:00-21:00	振り返り
9/10(火)	8:30-10:00	カヌー練習
	10:00-12:00	アクティビティ2(旗・Tシャツプレゼン/カヌーリレー)
	12:00-16:00	アクティビティ3(宝探し)
	17:00-18:00	振り返り
	18:00-20:30	夕食(BBQ)
	20:30-21:30	キャンプファイヤー
9/11(水)	8:00-9:00	片付け/清掃
	9:00-10:00	フリータイム
	10:30-11:00	クロージングセレモニー
	11:45-13:10	移動(大浦港→愛媛大学)
	13:40-16:00	振り返り
	17:00-20:00	懇親会

本プログラムでは、課題や問題をグループ内で解決することを促すために以下の禁止事項を設定した。

- ・班員以外と話さないこと。(スタッフを含む)
- ・他の班から食料や道具をもらわないこと。
- ・地元の中島住民の方とは話さないこと。
- ・自分の班のテントで寝ること。



9月9日(月)

8:30、参加学生は愛媛大学共通講義棟11に集合し、アイスブレイクを行った。本プログラムの説明とグループのメンバー発表と自己紹介等が学生スタッフ主導のもと行われた。また、愛媛大学秦教授から教職員スタッフへ本プログラムの主旨と取り組み方に関する説明がなされた。



その後、愛媛大学から大型バス 2 台で高浜港へ移動し、中島の大浦港までフェリーで向かった。フェリーの中では、各グループの名称を決めるためのワークが行われた。

中島に到着後、B&G 海洋センターで開校式が行われた。次いで、昼食をとった後、研修のための各種アクティビティを行った。

1 日目のアクティビティの狙いは、参加者に数多くの課題を設けることにより体力的・精神的に負荷を与えることで、数あるタスクの中で優先順位を決め、スケジュールを立てる時間管理能力や、グループで協力して課題に対応する力や、集団内での自分の役割を理解し主体的に行動する力を涵養することにあった。

活動内容は以下の 3 つである。

- ① 地図を元に衣食住のための道具を集め、姫が浜ビーチで環境作りを行う。
- ② コンセンサスゲームを行う。
- ③ カヌーレースの準備を行う。(ビーチフラッグ・グループ T シャツの作成)

参加学生はとても日差しが強い中、グループ内で話し合いを行ない、各自の役割を決めて活動していた。しかし、メンバーのほとんどが初対面であることや、他のグループのメンバー、ならびにスタッフとは一切話してはいけないという禁止事項のせいか、グループ内での会話も限定されたものであり、コンフリクトが観察されるグループもあった。



アクティビティの結果、食料が確保できなかつたり、火を起こせないグループが複数あった。教職員・学生スタッフによるリフレクションの際には、なぜこのような状態になったのか、自分の行動や感情について振り返り、改善策をグループ内で話し合うことで、2 日目以降の活動に備えることができた。



9月10日(火)

参加学生は、11:00 からのカヌー大会に出場するための必須課題として設定された「T シャツ・旗の作成・プレゼン」の準備を早朝から自主的に行っていた。

8:30 からは B&G 海洋センターの村上周平指導員によるカヌー講習が行われた。海上での危険を鑑み、真剣且つ厳しい講習が行われた。

11:00 からカヌーレースが行われた。会場設営の都合上、当初準備していた競技ルール・内容が開始直前で変更を余儀なくされたため、学生スタッフには臨機応変な対応が求められた。競技は、まずビーチでカヌーやオールを運ぶレースを行い、その後、カヌーで 30m ほど沖のパイロンを回るという行程で行われた。カヌーの操作を誤り、転覆した者に同じグループのメンバーが大きな声援を送る様子が観察された。





昼食後は、姫が浜ビーチ周辺で各グループに分かれ、問題解決型のアクティビティを行った。その概要は、複数の手がかりをもとに1つの暗号を完成させ、それを解読し、指定の物品を探索して発見することであった。この活動の目的は、目標達成の過程で複数人の協力のもと課題を解決したり、その際に必要な役割分担を行うことにより、グループ内での協調性や各個人の主体性を養うことであった。自転車で中島を半周する者、カヌーで離島まで行く者、暗号を解読する者など、それぞれ個人の得意分野を活かしてグループに貢献する姿が伺えた。また、グループ内での会話も増え、協力している様子が多く見られた。

その後、教職員・学生スタッフ主導のもと、グループごとにリフレクションを行い、活動を通しての気づき・改善点等の共有・フィードバックが行われた。

夕食後にはキャンプファイヤーを囲んで、これまで活動したのとは別のグループの学生や、教職員・学生スタッフらと交流を図り、意見交換を行った。

9月11日(水)

8:00 から清掃・片付けが行われた。

10:30 から姫が浜ビーチで本プログラムの閉会式が行われた。参加学生の代表者が、小立周平氏(姫が浜ビーチ支配人)と村上周平氏(中島B&G海洋センターレクリエーション指導員)に感謝の意を述べた。その後、お二人から本プログラムに対する感想をいただいた。



愛媛大学の到着後、2時間のリフレクションを行った。初めに愛媛大学秦教授がリーダーシップに関するスキルの修得という視点から、本プログラムでの参加学生が変化していった様子について解説がなされた。次いで、グループごとに分かれ、自分自身の気づきや学びについてメンバー同士での共有・フィードバックが行われた。教職員、学生スタッフ、参加学生全てがこの間の活動を振り返ることで、各自の成長に資するプログラムの纏めを行なうことができた。



【アンケート結果】

〈参加学生の自由記述より〉

- ・学生スタッフが本気で向き合ってくれたことがうれしかった。
- ・挫折しそうな場面があるからこそ、あきらめない気持ちや切り替えることの大切さを改めて気付くことができた。
- ・自分たちの悪かった点を重く受け止めて、次に活かしやすかった。
- ・課題が簡単すぎる。
- ・スタッフ間での連絡ミスがあったようなので、連絡の取りあいを確実にすることが大事だと思います。

〈学生スタッフの自由記述より〉

- ・学生スタッフと職員が振り返りを行ったこと。それぞれに学びがあったと思う。
- ・参加学生本人が気づいていない点をフィードバックすることで新たな気づきがあり、向上心へと繋がった。やはり失敗することが大切であると思う。
- ・学生スタッフの力不足で適切なファシリテーションが行えず、活動から学んだ点を日常にうまく落とし込めなかったのが気になった。学生スタッフはリフレクションの進め方について、教職員のアドバイスをもっと自主的に聞くべきだと思う。
- ・スタッフの仕事量が一部の人に集中して、観察時間に差が出ているように感じた。

以上のコメントは、学生スタッフが作成した「学生リーダーズ・サマースクール報告書」の一部を抜粋しております。

[目次へ](#)